

2023年4月24日

報道関係各位

公立大学法人北九州市立大学

「【特別展】書簡からたどる 20 世紀日本・中国文人の交流—谷崎潤一郎、林芙美子、武者小路実篤ら日本文人から届いた方紀生宛書簡〈初公開〉」の開催について

下記の通り特別展を開催いたします。

【趣旨】

日本による北京占領期(1937-1945)に駐日留学生監督として東京に赴任した方紀生(1908-1983)。1930年代に東京留学を経験した方は、師と仰ぐ周作人(1885-1967)を介して日本の著名文人らと親交を持ち、彼らと中国文人を繋いで日中の文化交流に尽力しました。方のもとには、谷崎潤一郎や林芙美子、堀口大学、武者小路実篤らからの書簡や絵画などが寄せられ、それらは方紀生令嬢川辺氏(共同研究者)のもとに保管されています。2017年4月に新聞各社がその発見を報道し、特に谷崎直筆の短歌を掲載して注目されました。本特別展では、谷崎や林、実篤らが方紀生宛に送った直筆書簡や絵画など、従来知られていない貴重な資料の数々を公開します。

記

【開催期間】2023年4月24日(月)

～5月18日(木)

【会場】北九州市立大学 北方キャンパス

図書館1階ギャラリー

(北九州市小倉南区北方4丁目2番1号)

【展示時間】平日・土曜 8:55～21:30

／日曜・祝日 10:00～18:00

(休館日: 5月3～5日)

※最終日は午前中のみでの展示です。

※学内・学外の方どなたでもご覧いただけます。

入場無料。



【特別展】
書簡からたどる 20 世紀日本・中国文人の交流
 谷崎潤一郎、林芙美子、武者小路実篤ら日本文人から届いた方紀生宛書簡

開催期間: 2023年4月24日(月)
 — 5月18日(木) ※最終日は午前のみ

会場: 北九州市立大学図書館1階ギャラリー (入館ゲート手前)
 開館時間: 平日・土曜 8:55～21:30
 ／日曜・祝日 10:00～18:00 (休館日5月3-5日)
 ◆入場フリー・学内・学外どなたでもご覧いただけます。

方紀生 (1908-1983) は、日本による北京占領期 (1937-45) に駐日留学生監督として東京に赴任しました。文学好きの方は青年期に書迅の弟である周作人 (1885-1967) と面識を持ち、周を師と仰いで中国文人らと交流しました。1930年代に日本留学した方は、周を介して日本文人らとも親交を持ち、帰国後、日中の文学作品や翻訳を自身が編集する中国の文芸誌に発表しました。1944年には『周作人先生のこと』を編集、東京で出版しました。戦後、文化大革命で投獄されたのち、名誉回復されたものの、その存在は日中関係史の溝渠に埋もれつつあります。方紀生における日中交流の一端が文通でつながりました。日本在住の方紀生令嬢のもとには著名な日本文人からの書簡の数々が残されています。本特別展では、それらの貴重な資料を初めて公開します。従来ほとんど知られていない20世紀日中文化交流の一端を感じてみませんか。

※本特別展は2022-2023年度北九州市立大学長選考型研究費の助成を受けて開催します。
 お問い合わせ先 鳥谷まゆみ (外国語学部中国学科) bird@may@kitakyu-u.ac.jp

●この件に関するお問い合わせ先
 北九州市立大学 外国語学部中国学科
 鳥谷まゆみ 電話 090-8226-1226

●大学広報全体に関するお問い合わせ先
 北九州市立大学 企画戦略課広報係
 石井、押領司 電話 093-964-4196